令和７年１２月度 理事会議事録

東部金属熱処理工業組合

１．招集年月日　令和７年１１月１７日（月）
２．開 催 日 時　令和７年１２月３日（水）　１３時３０分～１５時３０分
３．開 催 場 所　組合事務所
４．理 事 総 数　２３人
５．監 事 総 数　３人
６．出席理事数　１８人（本人出席１名、Web 会議システムによる出席１７人）
７．出席監事数　３人（Web 会議システムによる出席 ３人）
８．出席理事の氏名

嶋崎 利行、玉木 寛之、川村 道夫、安室 篤志、二瓶　啓、上島　健、川崎 一郎、秋山 正稔、山田　毅、田村 大輔、冨居 博治、岩本 将和、横山 聡洋、竹内 博次、石井　均、秦　研二、藤田 亮則、後藤 章洋

９．出席監事の氏名

熊木　宏、北田 智也、山口 直延

１０．出席組合員の氏名

出席組合員はいない

１１．議長の氏名

嶋崎 利行

１２．決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名

該当する理事はいない

１３．議事の経過の要領及びその結果（議案別の議決の結果、可決、否決の別及び賛否の議決権並びに賛成した理事の氏名及び反対した理事の氏名）

定刻に至り、嶋崎理事長から挨拶があった。挨拶の後、嶋崎理事長が議長となり開会を宣し、ただちに議事に入った。

第１号議案　中間決算について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、資料に基づき、令和７年４月１日から９月３０日までの上期６ケ月間の中間決算について説明があった。

主な内容は下記の通り。

・教育事業は、新入社員向け講習会、初級熱処理塾のスポット受講で収入増。
・技能検定費用は未入金分あり、後日収入増見込み。
・総会懇親会費が予算より少ない。
・一般管理費は予算通り。
・固定資産税のみ予算超過。
・中間決算は黒字で報告。

嶋崎議長の指名により、川村副理事長から、収入は参加料が予定より少ないが、支出を抑えたため黒字になり、運営に問題なしと意見が述べられた。

嶋崎議長は、中間決算について議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第２号議案　新年賀詞交歓会［令和８年１月２０日（火）］について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、資料に基づき、令和８年１月２０日（火）開催の新年賀詞交換会について報告があった。

主な内容は、次の通り。

・会場は５月の通常総会と同じレベル２１東京會舘で、会費は従来通り２０，０００円とし、余分な支出を抑えながら準備を進めている。

・当日のスケジュールは、午前中の正副理事会に始まり、１３時から理事会、賛助会員PR 会、AI 活用をテーマとした講演会を経て、１７時から懇親会を行う予定である。

・講演会では、経営者層を中心に参加者がスマートフォンを用いて AI を体験できる内容とし、講師にはジャイロ総合コンサルティングの露英一氏を迎える。さらに、２月３日には同講師による第２弾の AI セミナーを企画しており、参加者が PC やスマホを持参して実際に操作しながら学ぶ実践的な内容となる。東京都中小企業団体中央会の支援事業を活用し、講師謝金と会場費の助成を受けるための申請も進めている。

・理事会終了後には、組合員および賛助会員へ案内を行う予定。

嶋崎議長は、この枠組みで進める意向を確認し、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第３号議案　（一社）日本金属熱処理工業会「金属熱処理ビジョン」について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、来年度、日本金属熱処理工業会で「金属熱処理ビジョン」を策定するため、新たに特別委員会を立ち上げ、東部・中部・西部の各組合から人員を選出するよう要請があったことが報告された。条件としては、工業会理事（各組合の正副理事長）または執行役員を必ず１名含め、計６名で編成すること、回答期限は１月中旬である。さらに、工業会からは「若手をなるべく選出してほしい」との要望も示されている。昨日の正副理事長会で検討が行われ、１２月中に副理事長による協議を予定していることも報告があった。

嶋崎議長から、前回のビジョン策定は２０１０年頃で、中心的に関わった理事は現行にはほぼ不在。齊藤相談役らが中心だったこと「素形材産業ビジョン」や新たに立ち上がる予定の「BCP」と合わせて進む見込みで、業界の指針・羅針盤として必要なものと説明があった。人選は６名で、そのうち１名は工業会理事または執行役員を必ず含めるとなっているので、副理事長クラスから１名出す意向で若手理事も取り混ぜて、正副理事長で目安を作り、意見を反映して最終決定し、次回の理事会までに人選をまとめ、承認を得るようにした旨、述べられた。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第４号議案　台湾金属熱処理学会からのお申し出について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、１０月に台湾金属熱処理学会から連絡あり、来年秋の「サーモテック２０２６」（東京ビッグサイト）開催時に来日予定で、大学生・短大生を対象とした「イノベーション人材育成プログラム」と連動し、日本で交流の希望があったことの報告があり、昨日の正副理事長会で、今回だけでなく今後の交流のあり方も検討すべきとの意見あり、引き続き検討することになったと説明があった。

嶋崎議長から、台湾金属熱処理学会との交流は故・大屋理事長の時代に始まり、当時は台湾の企業訪問や歓迎を受けた経緯があると説明があった。台湾金属熱処理学会は、日本の工業会と技術協会を合わせたような組織で、学者や企業人が参加しており、コロナ前には来日

して日本技術協会とも交流を行った。今回の申し出を受ける場合、単発の交流にとどめるのではなく、継続的な関係へ発展させるかを検討する必要があり、その際には予算を伴う事業として位置づけることも視野に入れる段階に来ている。昨日の正副理事長会では、南副理事長が担当となり、今後の方向性を模索することに同意した。現時点では「来年秋に交流を持ちたい」という申し出をどのように扱うかを組合として決定する必要があり、今後は現理事が中心となってメリット・デメリットを含めて議論を進めることが求められる。理事会では、この件を継続審議とする旨が述べられた。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第５号議案　青年部会の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、資料に基づき、１０月２９日（水）、３０日（木）開催の「組合まつり in YOKYO」について説明があった。主な内容は、次の通り。

・ブース位置が入口横から会場内へ変更。設営時にメール送付ミスが発覚 → 展示台を急遽調整。青年部会へ迷惑をかけたことを謝罪。
・展示内容：熱処理サンプル、日本刀・玉鋼（和鋼博物館より特別に借用）。
・新設企画：熱処理体験コーナー（ピアノ線の焼入れ・焼戻しを触って体験）。
・熱処理クイズ：昨年に続きクイズを実施し、参加者に景品（うまい棒）配布。
・ブース運営サポート：二交代制で青年部会メンバーが説明対応。
・サポートメンバーからの意見：家族参加や体験コーナーが好評、日本刀・玉鋼展示が来場者を引き付けた、出展４回目でメンバーも慣れてきた。リピーター来場者もあり。
改善点等：ピアノ線準備を田村前部会長に一任したことへの反省、自転車チェーン展示の提案、設営資材の強度不足、平日開催による若年層PRの難しさ。
・収支状況：予算：２０万円、支出増：配送費値上げ、モニターレンタル費増、玉鋼クリアケース破損 → 組合で新規作成し和鋼博物館へ送付、昨年比：約４万円支出増。

嶋崎議長から、平日開催の課題の指摘（若年層へのPRが難しい）が、人材確保の観点で重要なので、裾野拡大・熱処理認知のツールとして継続すべきと述べられた。ケース破損対応については、保険適用には写真記録が必要なこととピアノ線のサンプル準備の負担について、予算措置や分担の検討を提案があった。

田村理事から、ピアノ線の焼入れ・焼戻しは小型炉で一度に４０本処理可能で、作業時間約１．５～２時間程度と説明があり、自社の若手教育の一環として行っているため、費用請求は、材料費程度で良いと説明があった。むしろ遠方参加者の交通費支援を検討してほしいと提案があった。

嶋崎議長から、交通費支援は難しいと回答があり、田村理事の協力に感謝し、今後も協力依頼があった。

続いて安室専務理事から、東京都立多摩工科高等学校での「出前授業」について資料に基づき、説明があった。日程は、１２月１０日（水）、対象は、デュアルシステム科１年生２６名。内容は、化学実験室で熱処理のプレゼンの後、グループごとにピアノ線の焼入れ・焼戻しを体験してもらう。当日は、１２：３０同校正門前に集合し、準備を行い、６限目（１３：３０～１４：２０）５０分で「出前授業」を行う。青年部会メンバー４名が参加予定。

山田部会長（理事）から、日程周知が遅れ、参加人数が少なくなったことを謝罪があった。「出前授業」は青年部会の経験蓄積だけでなく、将来的に自社（多摩冶金）が独自に授業を行えるようにするプロセスと考えて、社員を同行させ、教材を活用しながら独自展

開を目指したいと述べられた。他の組合員企業の近くの工業高校でも同様の取り組みを広げたいと考えていると説明があった。

嶋崎議長から、出前授業は若年層への熱処理普及、人材確保につながる重要事業と考え、将来的に組合員企業が独自に展開することを期待している。今回は急な日程決定だったため、今後は理事会で事前承認を得て進める体制が望ましく、玉木副理事長との相談不足を指摘し、組合事業として相互利益を意識して推進するよう要請があった。

山田部会長から、成り行き上、相談のタイミングを逃したが、今後は改善すると回答があった。

嶋崎議長から、理事会として１２月１０日の出前授業を了承し、今後の展開に向けて改善と協力を依頼があった。

安室専務理事から、来年度の［組合まつり］開催日程（令和８年１０月２７日（火）、２８日（水））について説明があった。

嶋崎議長から、青年部会の活動状況について議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第６号議案　各委員会等の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から１１月６日（木）開催の第３回総務委員会について議事録に基づき、報告があった。主な内容としては、①AI セミナー：令和８年１月２０日 新年賀詞交歓会で「AI 入門セミナー」（経営者層向け、スマホ活用、座学形式）、２月３日 ビジョンセンター田町で「実践編セミナー」（PC・スマホ持参、対面型、２０～３０名）、１０月２０日 玉木副理事長・熊木委員長・事務局が講師露英一氏とオンライン打合せ、東京都中小企業団体中央会の支援事業を活用し、会場費・講師謝金の 2/3 補助を申請中、②委員会規定の見直し： 現行規定は平成９年制定、平成２９年に一部改定（総務委員会追記）以降変更なし、近藤委員より改正案提示（目的の明記、活動内容追加、委員構成を２０名程度に、途中参加の扱い、事務局役割など）、新旧対照表を基に意見交換、③日本金属熱処理工業会での BCP 取り組み：１０月１６日工業会理事会で渡邊会長主導により承認。広域連携による代替生産、秘密保持契約、顧客対応などを検討。工業会総務委員各社の BCP 事例を総務委員会でプレゼン中。次回は熊木監事が説明予定、④外国人技能実習制度 評価試験状況：茨城エリアで試験終了。１１月に西部・東部、１～２月にも予定あり。昨年度評価試験実績２７名 → 本年度途中で７名と増加。初級増加に伴い翌年度専門級試験も増加見込み、⑤その他：奥谷副委員長：BCP は守りの発想、攻めの視点も必要。NTT 調布「NTTe-city Lobo」の視察で刺激を受け、多業種視察も取り入れるべきと提案あり。

嶋崎議長から、BCP について東部は７年間取り組んできたが、工業会としては新たに立ち上げる段階で緊急時に仕事が無くならないようにすることが重要で東部として培って来たものを活かしながら発信していく必要があると述べられた。

玉木副理事長から、昨日、工業会の臨時総務委員会があり、総務委員会主導で BCP を進めることが決定済みだが、BCP 推進 WG のメンバーがオブザーバーで参加することに承認をいただいたので、WG メンバーに協力してもらうことを考えていると説明があった。

嶋崎議長から、昨日の委員会では、西部はこれからの取り組みのように感じている。工業会総務委員会を中心に進め、随時報告しながら足並みを揃えながら、玉木副理事長の専門性を活かし、これまでの経験を大事にしながら進めたいと述べられた。

続いて、安室専務理事から、１１月１４日（金）開催の令和７年１１月度 技術・品質合同委員会について議事録に基づき、報告があった。主な内容としては、 ①初級熱処理塾：開催期間：９月２５日～１０月２４日、毎週木・金の５週（計１０日間、受講者：１１名（対面５名、オンライン６名）、スポット受講１８名、修了テスト：平均７９．８点、最高９８点、最低５６点（技能検定３級レベル）、評価：派遣元から高評価、継続希望多数あり、改善点：質問が少ない → 質問カード導入検討。テキスト索引追加要望あり → テキスト検討委員会で対応予定、会場運営面：新会場利用で工夫が必要、藤田理事（技術委員長）から来年度も９月開催、スポット受講制度継続。週二日×５週形式は、講師の反省会で再検討、②事業報告ならびに計画について：〇ISO 内部監査員養成研修会：１１月１１・１２日：ISO9001、２８名参加（対面１２名・オンライン１６名）、全員合格、１１月２５・２６日：ISO14001。２１名参加（対面１０名・オンライン１１名）、全員合格。修了証を各社へ発送予定、今後 ISO2026 年度版規格改定に対応について検討、〇実践型熱処理塾：現在未定。昨年度はカーボンニュートラル関連を扱った。賛助会員協力による新技術紹介や発表形式を検討、〇第９回品質活動発表会:開催予定:令和８年２月１９日(木)、オンライン開催、テーマ：熱処理不良に対する調査、内容案：３社の不具合事例発表 → グループディスカッション。仁平先生・中村先生による調査方法講義。賛助会員メーカーによる硬さ試験器プレゼンも検討、③令和８年度活動計画について：〇新入社員研修（体験型）：４月継続実施、〇中級熱処理塾：６月２０日（土）、機械振興会館予約済み、〇技能検定試験受験対策講習会：７月１１・１２日、大田区産業プラザ PiO で開催予定、〇初級熱処理塾：９月開催予定、〇ISO 内部監査員養成研修会：規格改定の対応を検討、〇実践型熱処理塾：継続検討、〇工場見学会：１２月開催予定、〇品質活動発表会：第１０回も継続予定、④報告事項その他：１２月１０日、産技研中村氏による表面技術・ものづくり研究会講習会案内。

嶋崎議長から、初級熱処理塾の会場について質問があり、安室専務理事から、今年は機械振興会館と製粉会館（茅場町）を利用と回答。続いて使い勝手について質問があり、安室専務理事から、設備的にはどちらも問題なく、ハイブリッド開催ができるが、機械振興会館の方が事務所に近いので助かると回答があった。

嶋崎議長から、製粉会館は便利で安価、機械振興会館は古いが事務局には利便性ありということで今後の課題として検討継続することになる。

横山理事から、初級熱処理塾について、受講生の中で欠席が多い者や著しく低得点者がいたので、修了報告の扱いを委員会で検討したいと説明があった。今回の形式は初めてであり、改善点はあるがメリットも多いのとスポット受講も多かったので、収益面でもプラスとなった点が良かったと述べられた。

嶋崎議長から、改善点を検討しつつ、メリットを活かして継続すべきと意見があった。

続いて、安室専務理事から、１１月１８日（火）開催の令和７年１１月度マーケティング委員会について議事録に基づき、報告があった。主な内容としては、①１１/２１（金）「セミナー」について：参加者：２９社５５名（対面２５名、オンライン３０名）になり、吉井委員長より、参加者集めに尽力した委員への感謝があった。資料は事前配布とし、質問が出やすいよう工夫。参加者名簿に「懇親会参加有無」を追加し、交流把握に有効。アンケートは Google フォームに統一し、QR コードで配布し、スマホ回答可能にする。②市場動向に関する情報交換について：自動車関係：低調～減少傾向。一部トラック部品は動きあり。建設機械・産業機械関係：地域・分野で明暗分かれる。半導体関係：２０２０年ピーク後減少。メーカーごとに差がある。農機具・船舶関係：比較的好調維持。価格転嫁、

人材不足が共通課題、③セミナー報告：講師：経済産業省 関東経産局 製造産業課 澤原宜課長、適正取引推進課 永島係長、テーマ：「適切な価格転嫁に向けた国の取組みついて」、「自動車産業の現状と自動車政策の方向性」、アンケート結果：回答率４６．４%。満足度高い。参加理由：テーマへの関心、業務関連性。印象に残った点：自動車産業の現状、下請法改正、中国 EV 動向。今後の希望テーマ：自動車以外の産業動向、グリーン成長、DX 関連。今後の参加意向：７２%「参加したい」、やや参加を含め９０%以上。ビジネス上の課題：自動車以外の分野への熱処理需要拡大。人材不足への対応。

嶋崎議長から、セミナーに関して、講師の澤原課長・永島係長の講演を評価し、中国需要動向など、最前線の情報が得られ有益だったと述べられた。

続いて、安室専務理事から、１１月２８日（金）に開催された令和７年度第３回 BCP 推進 WG について報告があった。主な内容としては、先ずオブザーバーとして、関東経済産業局中村係長の出席があったこと。①関東経済産業局からの情報提供について：事業継続力強化計画：単独型・連携型とも申請可能。リスクファイナンスハンドブック改定：リスクや損害額を試算できるツール整備。補助金制度の紹介、②設備及び備品リスト作成案について：詳細リスト作成は負担が大きく現実的でないとの意見多数。工業会方針：広域連携による代替生産を重視。東部意見：組合ホームページを活用し、設備情報を検索可能にする改善案、③連携事業継続力強化計画の更新申請について：現認定は１２月末で期限切れるので、更新申請を行うことで了承。前回２０社 → 今回は２社脱退し１８社で申請。過去３年間の活動実績を「達成」「継続検討」など区分して整理が必要。電子申請に移行している。事務局が精査し、玉木副理事長・松川サブリーダーと相談して手続き進めることになる、④（一社）日本金属熱処理工業会での BCP の取組について：工業会が総務委員会中心で取組みこと。WG の役割、⑤報告事項その他：國友熱工の BCP 事例紹介、次回開催日程。

嶋崎議長から、「自主行動フォローアップ調査」について最終的に回答は集まったのか」と確認があり、安室専務理事から、安室専務理事から石原工業会専務理事の再度の声掛け依頼を受けマーケティング委員中心に協力を要請し、締切が今週金曜日まで延長され数社から回答があったもののインターネット回答方式のため現時点では回答企業の把握ができていないと報告があった。

嶋崎議長は、委員会活動について議場に諮ったところ、全員一致で承認された。

第７号議案　報告事項その他について

安室専務理事から、令和７年８月～１１月にかけての組合員企業の異動が報告があった。

以上をもって、議案全部の審議を終了したので、玉木副理事長、川村副理事長より閉会を告げ散会した。

令和７年１２月３日

東部金属熱処理工業組合理事会

議長理事　　嶋崎 利行　　㊞

出席理事　玉木 寛之　㊞

〃　川村 道夫　㊞

〃　安室 篤志　㊞

〃　二瓶　啓　㊞

〃　上島　健　㊞

〃　川崎 一郎　㊞

〃　秋山 正稔　㊞

〃　山田　毅　㊞

〃　田村 大輔　㊞

〃　冨居 博治　㊞

〃　岩本 将和　㊞

〃　横山 聡洋　㊞

〃　竹内 博次　㊞

〃　石井　均　㊞

〃　秦　研二　㊞

〃　藤田 亮則　㊞

〃　後藤 章洋　㊞

出席監事　熊木　宏　㊞

〃　北田 智也　㊞

〃　山口 直延　㊞